

「電話対応コンクール全国大会」終了のご報告と参加事業所様への御礼

第54回電話対応コンクール全国大会が、平成27年11月27日（金）に上州名物からっ風の吹く、群馬県前橋市のベイシア文化ホールにおいて、全国の地区予選を勝ち抜いた60名の各都道府県代表選手及び応援者等約1,600名の来場者を迎え開催されました。

今年の問題は、「聴きとる力を磨き、訊き出す力を鍛える」をテーマに、お客様がお土産を購入した物産館に忘れ物をされ、問い合わせの電話がかかってくる設定で競技が行われました。また、対応の最後に留守番電話へ吹き込むシーンがある今までにない問題の構成でした。各県の代表選手が苦戦する中、惜しくも入賞を逃したものの千葉県代表の山口夏子さん（ヤマト運輸(株)船橋主管支店）は持ち前の笑顔でお客様の気持ちに寄り添うことを忘れずに善戦しました。本当にお疲れ様でした。

本年度の電話対応コンクールにご参加いただきました各地区の選手の皆様、そして関係事業所様的一方ならぬご支援・ご協力の賜物と思っております。心より感謝を申し上げますと共に厚く御礼申し上げます。

次年度の電話対応コンクールは、大阪で開催される予定でございます。更に多くの会員様にご参加いただける事業となるよう、事務局一同、PR活動及び研修の充実に傾注し、努めてまいります。最後に、県内全ての事業所様の益々のご清栄を祈念し、御礼の言葉といたします。

（公財）日本電信電話ユーザ協会千葉支部
事務局長 中山 廣

